

熊本矯正歯科研究会

NEWS LETTER

事務局: 熊本駅前矯正歯科クリニック 上村 裕希
〒860-0047 熊本県熊本市西区春日 5-2-1
TEL 096-342-4148 FAX 096-342-5095
Email: kumamoto-ekimae-ko@cure.ocn.ne.jp

令和6年度 (春季)



令和5年度後期熊本矯正歯科研究会 臨時総会・特別講演会 (令和5年12月16日) 熊本和教奇司館にて

会長挨拶



熊本矯正歯科研究会会長

きょうごく矯正歯科・小児歯科クリニック 京極和彦

今年度より犬童前会長から引き継ぎ熊本矯正歯科研究会会長となりました京極です。熊本県のスタディグループとして最も歴史があり、会員数におきましても最大である本会の会長を務めさせて頂く事は、大きな責務を感じると共に大変身の引き締まる思いです。

熊本矯正歯科研究会が会員の皆様にとりまして充実した研究会であり、更なる向上の場として魅力ある会となるよう尽力して参りたいと思います。

また、会の運営におきましても出来る限り皆様のご要望を聞き取り、可能であれば実現していこうと考えております。皆様の忌憚なきご意見ご要望をお待ちしています。

近年、歯科矯正界は様々な情報が飛び交い、患者様達は一体どの情報を信じ、安心して矯正治療を受けられるのか悩んでおられる様にも見受けられます。そういった患者様方に、少しでも分かり易く矯正治療

を受けていただけるよう、外へ向けての情報の発信をしていく事は、熊本矯正歯科研究会にとりまして大変重要な事と思います。大きな事を一度に発信するのは難しいにしても、各先生一人一人が小さな発信をすることは可能です。熊本矯正歯科研究会が歯科矯正治療を望んでおられる患者様の少しでも力になれる様に、是非会員一同力を合わせて熊本の歯科矯正界をリードして行きましょう！

最後に、今後足りない点など多々あるかとは思いますが、その際にご指導ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

令和6年度(新) 執行部

会長：京極和彦

副会長：久永豊 山本資晴

事務局：上村裕希

会計：竹口敦士

学術：青木潤也 太田文隆

ホームページ：近藤俊輔

広報：鬼塚研志

以上、理事

監事：犬童寛治 山部耕一郎

令和5年度後期の主な活動報告

理事会

令和5年12月4日に第四回理事会(リモート形式)を開催いたしました。

令和6年3月16日に第五回理事会(対面形式)を開催いたしました。

令和5年度後期熊本矯正歯科研究会 臨時総会

令和5年12月16日(土)に「熊本和数奇司館」にて令和6年度からの熊本矯正歯科研究会会長を選出するべく臨時総会が執り行われました。犬童寛治前会長推薦の下、京極和彦先生が次期会長となる事が賛成多数で可決されました。

令和5年度後期熊本矯正歯科研究会 特別講演会

令和5年12月16日(土)に「熊本和数奇司館」にて久保田隆朗先生(福岡県八女市開業)による特別講演会が行われました。

『矯正学の通説に抗う』という演題でご講演して頂きました。昨今のデジタル時代においてバーチャルモデルを使用した治療計画の立案を行うことによって、ブラケットやワイヤー等従来の装置を用いなくとも理想的歯列を実現させてしまう久保田隆朗先生の「WZDM」の考え方が特に印象的でした。

この度は貴重なご講演誠にありがとうございました。



講演中の様子



犬童前会長から久保田先生へ感謝状を謹呈いたしました

令和5年度後期熊本矯正歯科研究会 懇親会

令和5年12月16日(土)に特別講演後「熊本和数奇司館」にて懇親会を行いました。

久永豊先生による挨拶、山部耕一郎先生の乾杯により開始され、皆様楽しいひと時を過ごされていました。

最後は、山本資晴先生の一本締めにて当会員のご活躍とご多幸をお祈りし終了いたしました。



山部先生による乾杯



山本先生による一本締め

今後の主な活動予定

令和6年度前期熊本矯正歯科研究会 総会・会員発表・特別講演会・懇親会

令和6年6月15日(土) 場所「熊本和数奇司館」にて、

総会 16:30～、会員発表 17:00～、特別講演会 17:30～、懇親会 19:30～ を予定しております。

予定議案 (内容は変更される可能性があります。)

〈議案1〉令和5年度の決算報告および監査報告。

(会計代理: 上村裕希先生 監事: 犬童寛治先生 山部耕一郎先生)

〈議案2〉令和6年度の予算案報告。(会計代理: 上村裕希先生)

〈議案3〉熊本矯正歯科研究会70周年記念式典の予算の支出について。

報告事項 (内容は変更される可能性があります。)

- ・新執行部の紹介。 ・熊本矯正歯科研究会70周年記念式典について。
- ・令和6年度後期の特別講演会、懇親会開催についての報告。
- ・今後の年会費口座引き落とし日について。 ・新入会員及び退会会員の報告。

【会員発表】

演者 中西正光先生 (熊本市中央区開業)

演題 『歯列矯正のデジタル化が進む中で過ごした医局員時代』

略歴

2003年 熊本市立白川中学校 卒業

2006年 福岡私立久留米大学附設高等学校 卒業

2013年 東京歯科大学 卒業

同大学病院にて臨床研修

2015年 九州大学病院矯正歯科 入局

2021年 九州大学病院矯正歯科 退局

2021年 医療法人社団ホワイト歯科医院 勤務

東京歯科大学摂食嚥下リハビリテーション講座 専攻生として入学

2023年 熊本サニースマイル矯正歯科 開業

日本矯正歯科学会認定医取得



抄録

大学院に入局した頃の頃、診断や分析は専用のソフトウェアを用いながらもトレースはペンタブにてディスプレイに直接描画するといったデジタルとアナログの狭間のような環境で基本研修を受けてきました。

現在ではさらに進化し、AIによる側面セファロ上でのプロット及び分析やセファロの重ね合わせが自動で出来るようになり、また口腔内スキャナからの情報を元にしたデジタルセットアップなど術者も患者もデジタル化の恩恵を受けるようになりました。さらに、アライナー矯正という新しい治療法も台頭し、

急速に環境が変わっていくのを感じております。

しかし、メリットばかりではなくデメリットも存在していると考えておりますので、歯列矯正治療のデジタル化との自分なりの付き合い方を僭越ながら失敗談や症例を交えつつ発表させていただきたいと思っております。

【特別講演会】

演者 永田和裕先生

(日本歯科大学新潟病院 総合診療科 臨床准教授・長岡デンタルコミュニケーションズ 代表)

演題 『リハビリテーション理論に基づく多面的顎関節症治療 (MMT)』

一般臨床家が明日から始める顎関節症の治療



略歴

1959年 佐賀県佐賀市 生まれ (現在 65歳)
1983年3月 日本歯科大学新潟歯学部卒業
1983年4月 日本歯科大学新潟歯学部 歯科補綴学教室第1講座 助手
2001年4月 日本歯科大学新潟歯学部 附属病院 総合診療科 講師
2003年4月 日本歯科大学新潟歯学部 附属病院 総合診療科 助教授
あごの関節・歯ぎしり 外来医長
2006年4月 日本歯科大学新潟歯学部 附属病院 総合診療科 准教授
2021年1月 日本歯科大学新潟病院 総合診療科 臨床准教授
長岡デンタルコミュニケーションズ 代表

現在の肩書き

日本補綴歯科学会 指導医・専門医
日本顎関節学会 指導医・専門医 社会連携・広報委員
日本磁気歯科学会 理事・臨床評価委員長

抄録

顎関節症の治療では、術者の経験や趣向によって、スプリント、咬合治療、運動療法、生活指導、薬物療法などさまざまな方法が用いられていますが、最近では、種々の臨床研究結果に基づき、初期治療としてリハビリテーション理論を用いた保存療法が、世界的に支持されるようになっていきます。

演者らが行ったランダム比較研究でも、リハビリテーション療法は、単に安全なだけでなく、早期の症状軽減にも有効なことが確認されており、スプリントの使用しにくい若年者や矯正治療中の患者の治療においても有効な選択肢と言えるでしょう。

本講演では、経験の少ない先生でも簡単に導入でき、効果的で安全性の高い運動療法を中心とした多面的顎療法 (MMT: Multimodal Therapy) に関して、顎関節症のリハビリテーション療法の第一人者であり長年顎関節外来で多数の新人指導を行ってきた演者が、一般臨床家を対象とした顎関節治療のポイントや注意点について詳しく解説したいと思います。

多面的顎療法 (MMT: Multimodal Therapy)

- 1 リハビリテーションを目的とした、運動療法と簡易 MFT (Myofunctional Therapy)
 - 2 咀嚼系に生じる過剰な力による障害の軽減を目的とした、力のコントロールと咬合管理
 - 3 疼痛と筋緊張の軽減を目的とした薬物療法
- 以上3種の治療法を、病態に応じて組み合わせた効果的な治療法です。

お知らせ

今年度の年会費の口座引き落としは4/22(月)に行っております。ぜひ一度ご確認ください。

(編集: 広報担当理事 鬼塚研志)

熊矯ホームページは、<http://kumakyouseiken.com/> 会則閲覧パスワード: **kos2024**

熊本矯正歯科研究会のニュースレターはホームページからもご覧できます。是非ご覧くださいませ。